

1 単元名 Lesson 4 Safe Clean Water, Goal Activity (三省堂)
Eco study in Kalimantan (自作教材)

2. 単元の目標

文法事項 (There is / are を用いた文の構造を理解する・動名詞の意味や働きを理解する) 及び、語彙を活用し、環境問題について理解を深め、行動計画を英語で表現できるようになる。

- ・ (知識・技能) 水の利用状況やカリマンタン島の開発と環境保全の衝突について英文を理解し、その内容を要約して発表することができる。
- ・ (思考・判断・表現) 環境問題が抱える相互性や有限性を多面的・総合的に捉え、持続可能な社会のために取るべき具体的な行動指針とその理由を英語で表現できる。
- ・ (主体的に学習に取り組む態度) 地球環境への影響を「自分ごと」として捉え、将来の世代に対して責任を持つという態度 (責任性) に基づき、積極的に環境保全に向けた行動を計画し、ポスターとして表現しようとする。

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は、三省堂『NEW CROWN 2』Lesson 4 “Safe Clean Water” を基盤とし、発展的な活動として自作教材 “Eco study in Kalimantan” を取り扱う。教科書では、世界には安全な水を利用できない人々がいるという事実 (知識) と、それに対する具体的な行動としての3R (Reduce, Reuse, Recycle) を学び、文法事項としては「存在」を表す “There is/are” や「行為」を名詞化する動名詞を扱う。これに加え、自作教材ではカリマンタン島のパーム油生産と環境破壊、そして日本の消費活動との「つながり (相互依存性)」 に焦点を当てる。単なる知識の習得にとどまらず、ロールプレイングを通して経済発展と環境保全のジレンマを疑似体験させることで、英語を用いて批判的に思考し、他者と協働しながら最適解を模索する力を養うのに適した教材である

(2) 生徒観

中学2年生は、抽象的な思考力が発達し始め、社会事象への関心も高まる時期である。SDGs という言葉自体は認知している生徒が多いが、それを「自分ごと」として捉えている生徒はまだ少ない。多くの生徒にとって、環境問題は「遠い国の出来事」や「理科や社会科で学ぶ知識」として認識されがちである。英語学習においては、自己表現の欲求が高まる一方で、複雑な内容を英語で表現することに躊躇する生徒も見られる。しかし、正解が一つではない社会的課題を扱うことで、間違いを恐れずに自分の意見を伝えようとする意欲を引き出すことができると考える。

(3) ESD との関連

- ・ **相互性 (Interdependence)** : 日本での消費活動 (洗剤・食品など) が、遠く離れたカリマンタン島の森林や生態系に影響を与えていることに気づく。

- ・ **責任性 (Responsibility)** : 地球規模の課題に対し、現在の自分たちが将来の世代や他国に対して責任を負っていることを自覚し、ポスター制作を通して自分事として発信する。

・ **本学習で育てたい ESD の資質・能力**

- ・ 批判的に考える力 (Critical Thinking) : 経済的利益と環境破壊のトレードオフに対し、一方的な見方ではなく、背景にある複雑な利害関係を分析する力。
- ・ 未来を構想する力: 持続可能な社会のために、現状を変えるための具体的な行動指針を立案する力。
- ・ コミュニケーションを行う力: 異なる立場の意見を聞き入れ、自分の考えを効果的にポスターや発表として発信する力。

・ **本学習で変容を促す ESD の価値観**

- ・ 人間の尊重とつながりの尊重: 自分たちの豊かな生活が他者の犠牲の上に成り立っていないかを問い直し、他者や自然環境との共生を志向する態度。
- ・ 自己効力感の醸成: 「自分一人の小さな行動でも、変革につながる」という意識。

・ **達成が期待される SDGs**

Goal 12: つくる責任 つかう責任 (リユース、パーム油の消費)


Goal 15: 陸の豊かさを守ろう (カリマンタンの森林保全)

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
・水利用や廃棄物、気候変動など環境問題に関する英文 (動名詞を含む) を理解し、環境保護に関する語彙を習得している。	・環境問題の背景にある多面的な利害関係や相互依存性をクリティカルに考察し、持続可能な社会に向けた具体的な行動指針を英語で表現している。	・環境問題解決のための自らの行動の自己効力感を持ち、行動化を目指している。

5. 単元の指導計画 (全時間)

次	主な学習活動	学習への支援	○評価 ・備考
1	○環境問題への関心喚起と課題設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 水資源の確認: 教科書の内容を理解し、約 1 億 2000 万人が安全な飲料水を利用できず、湖や河川・池などから水を得ている現実を知る。 ・ 2 気候変動 気候変動に関する映像や環境活動家 (セヴァンスズキ) の動画などを視聴し、世代間の公正について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模の課題への気づきを促す。 ・ 水の有限性を認識する。 	ア ワークシート ウ 授業中の観察

<p>2 ～ 4</p>	<p>○文法事項の習得と環境保護の語彙の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 リユース : Let' s Reuse Blank Sides の本文を理解し、Reduce, Reuse, Recycle の概念を学ぶ。 ・ 2 具体的な行動の確認 : <ul style="list-style-type: none"> ・ メモをとるために白紙の裏面を再利用する。(reusing the blank side as paper for notes) ・ 水を節約するために洗濯をするときは水を使いすぎない。(use water less when washing) <p>など、具体的な行動の表現(watch/ Do not)を学ぶ。</p>	<p>身近な生活における責任性を考える。</p>	<p>ア 小テスト ワークシート</p>
<p>5 ～ 7</p>	<p>○多角的な視点の育成と相互依存性の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 要約とロールプレイング カリマンタン島のスクリプトをグループで要約(主婦・環境保護活動家・教師・子どもなど)し、発表する。 <p> ROLE PLAY SCRIPT⁴²</p> <p>The Palms and People of Kalimantan Island⁴²</p>  <p>⁴² I went to Kalimantan Island because many kinds of animals and plants live there. For example, orangutans and hornbills live on the island. Many people there are working hard to protect the environment.⁴²</p> <p>A long time ago, the village of Hanjun Tarapan was in a rainforest. The government decided to make the area a national park. So, the villagers had to move to a new place with a forest.⁴²</p> <p>Then, a palm oil company asked the villagers to sell their land.⁴²</p> <p>At first, the villagers said "no." But the company promised two things: jobs and electricity for the village. So, in the end, the villagers decided to sell their land. After that, many villagers started to work at the plantation.⁴²</p> <p>Now, the village is between the national park and the palm plantation. The village has an elementary school, a middle school, and a hospital. ⁴²</p> <p>I stayed there for about a week. I wrote a story about what I saw and heard there. Let's listen to the five villagers I met. ⁴²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 ロールプレイングの実施 経済的利益(収入・電力・スマホ・家電など)と環境破壊(森林伐採・化学物質による河川や土壌汚染)の対立を体験する。 ・ 3 ディスカッション 環境保護グループのリーダーBaskiの「外国人、特に日本人に、自分たちのライフスタイルがこの環境にどう影響しているか知ってほしい」というメッセージについて深く考える。 	<p>クリティカルな考察力を養う。日本での暮らしに使っている日用品が遠い場所で影響を与えている(相互依存性)を認識する。</p>	<p>イ ループブック評価</p>

			
<p>8 ～ 10</p>	<p>○調査・解決策の立案・ポスター作成・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 個別課題の調査各自で環境問題を選定し、原因と現状を調査する。 2 解決策の立案：選定した問題に対して、「自分が今日からできる具体的な行動」を3つ以上設定し、英語で表現する。 3 ポスター作成 決定した行動指針をもとに、他者へ訴えかけるオリジナルポスターをデザインする。 4 発表と相互評価：ポスターの内容を発表し、意見交換を行う。地域の人たちへの掲示を視野に入れる。 	<p>学びを行動に結びつける。 コミュニケーション力をつけて社会に発信する。 多角的・総合的な考察力の活用 自己効力感と責任性の醸成 デザインの視点を活用する 行動指針の深化と普及。</p>	<p>ウ 行動変容チェックシート</p>

*パドレットによるポスター提出

